

学生教職支援センターは、あなたの教職に就く夢を叶えます！



宮崎国際大学マスコットキャラクター MIU

# 未来への挑戦



令和5年度 第2号

宮崎国際大学 学生教職支援センター通信

2024年2月27日発行

## 令和5年度実施 公立小学校教員採用選考試験の結果

### 現役合格率 100%

本学は、平成26年度に教育学部児童教育学科が設置された後、県内外の教育施設に卒業生を送り出してきました。これまでも本学における教員採用試験の合格率は、県内の大学の中でもほぼトップの座を維持してきましたが、令和6年度（令和5年度実施）の試験結果はなんと受験した全員が小学校教員採用試験に合格するという快挙を成し遂げました。100%以上はないのですから、本年度の本学は、まさに日本で最も合格率の高い大学といえます。

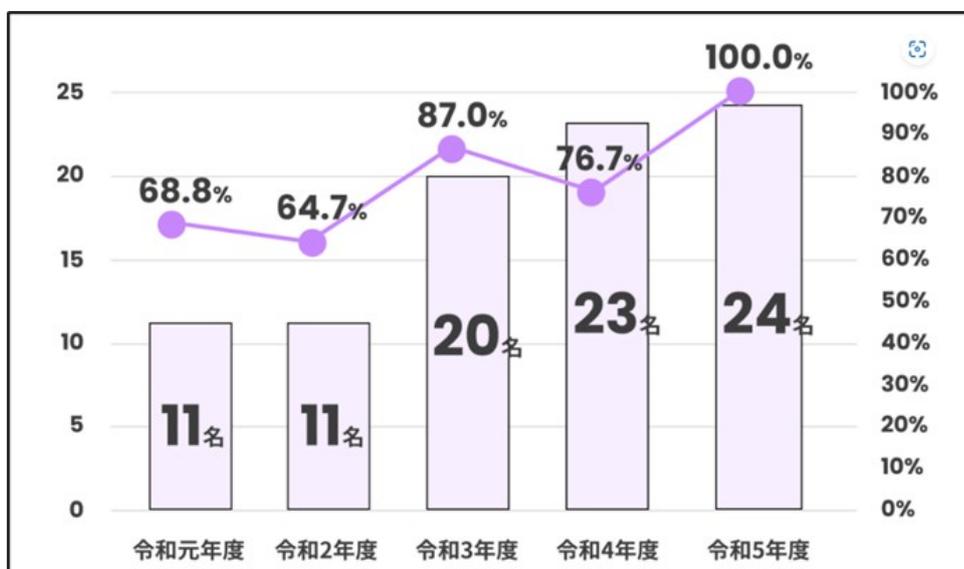
また、国際教養学部の教職課程（英語教育コース）からは、宮崎県公立中学校教員採用試験に2名が合格しました。本年度の中学校英語教員の最終倍率は7.9倍で、7名の合格者のうちの2名が本学の学生ですから素晴らしい結果です。

これらの実績は、1年生から綿密に計画された教員採用試験合格プログラムのもと、誰一人取り残さないきめ細かな指導と教員になる夢を叶えようと歯を食いしばって頑張った学生の努力の賜物だと思います。



模擬授業講座の様子

## 今号の特集記事 / 教員採用選考試験全員合格



教員採用試験 過去5年間の現役合格者数と合格率



### 【合格受験自治体】

- ・宮崎県 17名
- ・大分県 4名
- ・熊本県 1名
- ・鹿児島県 1名
- ・千葉県 1名

令和5年度 合格者内訳

それではまず、令和6年度（令和5年度実施）公立学校教員採用選考試験で最も合格者の

多かった宮崎県での試験内容がどのようなものだったのかをお知らせします。

第一次選考試験の内容(学習指導要領を含む)		
筆答試験	小学校教諭	中学校教諭(英語)
専門	教科(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語、道徳)	英語
教職教養	教育関係法規、教育原理、教育心理、特別支援教育、道徳教育、国の教育施策、本県の教育・歴史・文化等に関する事等、教職全般に関する内容	

第二次選考試験の内容		
実技試験	小学校教諭	中学校教諭(英語)
模擬授業 個人面接	教員としての適性、専門的知識・技能、授業構成力、指導方法・手立ての工夫等の実践的指導力等を総合的に評価する。また、教職教養を含め、教育者としての使命感や意欲、幅広い社会性や人間性等を総合的に評価する。	
英会話	外国語活動・外国語科で活用する簡単な英会話力を評価する。	英会話力を評価する。
グループワーク	課題に基づくグループワークを通して、コミュニケーション能力や社会性、教養の豊かさや人間性等を総合的に評価する。	

他の自治体における教員採用試験は、第一次選考試験の出題内容に若干の違いがありました。また、第二次選考試験では実技試験（グループワークが集団討論であるなど）の違いがありましたが、これらの差異については、自治体別に対応しました。

## 本年度合格率100%に導いた教員採用試験合格プログラム3つの取組み

### 1 教員採用試験「対策講座」

この講座は、1年生の時から開始されており、基礎Ⅰから応用Ⅱまで教員になるための深い学びを段階的に身に付けていきます。その際、教員採用試験（第一次・第二次）の対応はもちろんのこと、教員採用試験に合格した後も教育現場で戸惑うことのないように、宮崎県教育委員会や宮崎市教育委員会と連携したインターンシップも実施しました。



## 2 外部講師による「特別対策講座」

元小学校長で教員採用試験に精通している4名の外部講師をお迎えして、3年生の8月から4年生の第一次選考試験直前まで、110回にわたる講座を設定しました。この講座では、過去5年間の教員採用試験問題から出題傾向を分析し、第一次選考試験で出題される「専門教科」と「教職教養」の筆答試験対応が実施されました。

### 専門教科講座

小中高等学校それぞれで指導する教科を中心に、出題される問題に対応しました。特に、小学校教員採用試験では主要4教科（国語・社会・算数・理科）に限定して出題する自治体もありますが、本講座では、全教科に対応しました。教科数が多いことから、苦手意識を極力なくすよう繰り返し指導が行われました。また、各教科とも「教科目標」「各学年の目標」「指導計画の作成と内容の取扱い」がよく出題されることから、重要語句を中心として確実に内容を把握できるような講座内容でした。



特別対策講座の開講

### 教職教養講座

教職教養は、教育現場で教師として働くために必要な教育理論、教育心理学、カリキュラム開発、教育法規、教育技術などの基礎的な概念や方法論です。これらの知識やスキルは、教育者が効果的に教育を提供し、子どもたちの成長や学習を支援するために重要です。教員になるにあたって知っておくべき知識として出題されます。この講座では、全領域を網羅しながら出題の可能性の高い内容について重点的な指導が行われました。



熱心な取組みが現役合格への近道

### 合格者の感想

- ◇ きめ細かな試験対策があるので、他の大学の友達からうらやましがられました。後輩には是非とも出席して学びを深め、自信をもって受験してもらいたいと思います。
- ◇ 全分野・領域にわたって学修を進めていただきました。試験では、専門試験、教職教養とも9割ほどの確率で出題されていたので、安心して解答することができました。
- ◇ 教育法規には苦手意識があったのですが、知識を詰め込んで覚えるのではなくその背景なども説明してくださったので、具体的に理解できたことが大きかったです。
- ◇ 特別支援教育や生徒指導の分野の学修の中で、実際の現場での取り組みについてはとても興味がわきました。試験対策の講座でしたが、教員になった際にも役立つと思いました。

## 3 第二次選考試験対策

第二次選考試験の内容である、「模擬授業」「個人面接」「英会話」「グループワーク」については、第一次選考試験に合格した学生（本年度は100%合格なので、もちろん全員です！）を対象に指導しました。



グループワーク講座の様子

## 模擬授業講座

模擬授業とは、多くの自治体が設けている教員採用試験の実技課題です。受験者が試験官の前で、指導場面を想定して授業を行いその様子が評価されます。そこで、受験自治体の課題に沿って「児童生徒を引き付ける技術や話術」

「説明や指示の技術」「声の大きさや板書の仕方」「発問のタイミング」「児童生徒の発言の取り上げ方」「動作や表情」などを個別指導しました。

## 個人面接講座

個人面接では、教職教養を含め、教育者としての使命感や意欲、幅広い社会性や人間性等が評価されます。そのために教員として望ましい態度や言葉遣いで面接に臨むことが大切であり、質問に対しての理解力や答える際の表現力も重要です。そこで、好感もてる身だしなみや立ち振る舞い、発声の仕方など面接の受け方の基本を学ばせた上で、質問された事柄についての答え方について具体的に指導しました。

## 合格者の感想

- ◇ 模擬授業講座では、教師の立つ位置や声の出し方、机間指導の仕方など、その動き方の意味から理論的に教えてくださるので、実際の子どもを指導するイメージをもちながら練習することができました。おかげで、当日も練習通りに表現することができました。
- ◇ 個人面接講座では、実際に県教委に提出した自分の願書をもとに指導が行われました。教員志望の動機などについて深く追及されることで、改めて自分の考えがまとまり、自信をもって試験に臨むことができました。

## 英会話講座

中学校の英語科はもちろんのこと、小学校においても教員は外国語活動や外国語科の授業を行うので、英会話能力についても試験内容に含まれます。試験では、小学校教諭を目指す受験者には基礎的な英会話、中・高等学校教員を目指す受験者にはさらに高度な内容が要求されます。そこで、それぞれのレベルに応じた具体的な指導を行いました。

## グループワーク講座

教育現場では教員同士で話し合いながら問題解決を図っていきますので、最近では多くの自治体の教員採用試験にこのグループワークが取り入れられています。グループワークでは、数人のグループをつくり、一つのテーマをもとに討論などを行います。そこで、課題に沿って調べ上げたデータをもとに自分の考えをもつことや自分の経験をもとに課題解決への道筋を具体的に述べる練習をしました。その際、討論の時間配分や他の受験者の意見の活用などの配慮点についても指導しました。

- ◇ 英会話講座では試験時と同じように試験官と1対1の場面設定をしてくださり、繰り返し練習したので、当日は緊張せずに問いに答えることができました。
- ◇ ランダムに組まれた5人のメンバーと一つのテーマについてグループワークに取り組むことが初めてだったので最初は緊張しましたが、討議の仕方や流れについて具体的に指導していただいたので、試験の際だけではなく、実際の現場に出た際にも役に立つと思いました。

## 令和7年度(令和6年度実施) 宮崎県公立学校教員採用選考試験の内容が公表されました

出願期間		第一次選考試験	第一次選考試験結果通知	第二次選考試験	第二次選考試験結果通知
電子申請システム登録	願書提出				
2月13日(火)～3月22日(金)正午	4月8日(月)～4月19日(金) 当日消印有効	6月16日(日) ※予備日 6月23日(日)	7月8日(月) ※予定	7月27日(土)～8月4日(日)	8月30日(金) ※予定

第一次選考試験並びに第二次選考試験の内容は、100%の合格者を出した本年度と同じものとなりますので、すでに試験対策のノウハウは十分に蓄積されています。学生教職支援センターでは、教員等採用試験合格支援プログラム

をさらに充実させるとともに、「愛情と情熱・使命感」を抱き、「高い専門性」と「幅広い社会性、倫理観、人間性」を身に付け「学び続ける姿勢」をもつ教員の卵を育てることで、次年度も高い合格率を目指します。